

銘柄分析レポート：いぶし銀ファンド（2013年版）

1. はじめに

私が勝手に「いぶし銀ファンド」と呼んでいる株式投信があります。過去5年間のパフォーマンスにおいては、TOPIXやJASDAQ指数に大差をつけています（下のチャート）。

ところが、直近1年間では、ベンチマークとしているJASDAQ指数に負けています。今年の相場では、ガンホーやバイオ関連など、一部の銘柄が大きく値上がりしたからです。

ファンドマネジャー氏は、10月の月報にて、次のように述べています。

新興市場のうち成長イメージが強い銘柄に資金が集中する状況は、かなり行き過ぎの感が強く、反落リスクが高まっていると判断しています。当ファンドは割安な出遅れ株に集中することで、市場の過熱とは関係なく安定したパフォーマンスを上げることを目指します。

機関投資家の場合、ベンチマークに負けたくない一心で、強い銘柄に“目をつぶって”ついていくケースもあると聞いています。

そんな中、投資ポリシーを堅持しているのは立派です。

今回の銘柄分析レポートでは、この「いぶし銀ファンド」の投資銘柄について取り上げます。

★いぶし銀ファンドのパフォーマンス

